《北海道の住宅不動産業界のオピニオンリーダー》 2026年（令和8年） 2月1日号 第1148号

北海道住宅産業新聞

発行所 株式会社北海道住宅産業新聞社 〒060-0042 札幌市中央区大通西6丁目6-1 北海道医師会館2階 TEL 011(211)5320 www.hkdhousing.info

今号の主要記事

・2·8面… 25年札幌市内分譲MS 供給減加速
・3面… 三井物産D·アセットマネジメント 田本英輔北海道支社長に聞く
・10面… トワ·ピリエ谷口孔沢社長 「地域密着」が理念

インタビュー

土屋ホーム（札幌） 山川 浩司 取締役社長

積水ハウスと連携、高級路線に力

住宅平均価格帯26年末までに4000万円台へ

土屋ホーム（札幌）は、積水ハウス（大阪）との連携で高級路線に力を入れる。住宅の平均価格帯を2026年末までに4000万円台へ引き上げる。積水ハウスの耐震技術やデザインのノウハウを取り入れ付加価値を高める考えだ。26年10月期売上目標は単独で前期比25%増の230億円を目指す。山川浩司取締役社長に展望を聞いた。

やまかわ・こうじ　1969年9月13日生まれ、札幌市出身。北星学園大卒業後、94年に土屋ホームに入社。2015年の取締役部長関西地区長兼関西本店長を経て、18年から現職。

―共同建築事業で積水ハウスと提携し、1年が経過したが効果は。

積水ハウスが住宅のスケルトン部分の基礎、躯体、接合部を担当する「SI（エス・アイ）事業」が仙台でスタートし、25年は20棟超えの受注があった。とても手応えを感じている。

積水ハウスと価格などで折り合いが付かなかった顧客の受け皿となったケースが増えている。今後、連携して住宅イベントを開くなど、積極的に営業を推進したい。

―道内での動きは。

基礎と柱を直結する「ダイレクトジョイント構法」の採用や、積水ハウスの設計陣と連携したデザインの住宅を提案する。建物の規模をこれまでより大きい40坪にしたり、ワイドリビングを取り入れるなど高級路線を目指す。価格帯は、これまでの3000万円程度から4000万円台まで引き上げたい。

ターゲット層は家族年収で800万円以上に設定する。20代後半から30代後半がボリュームゾーンになるだろう。豊平区にある展示場でも積水ハウスとコラボしたモデルハウスを建設する予定だ。

―地方での展開について。

旭川と函館に力を入れる。両市とも他地域同様に建築確認申請の件数は減少しているが、全体的な数はまだ多く、市場として良い。北見市をはじめとする地域では、少人数体制で建売や増改築・修繕で利益を出す。

注文住宅メインに転換

―住宅ローン金利が上昇傾向にあるが、対応は。

金利だけでなく建築資材価格も上がっていて、道内の戸建て着工件数は減少を続けている。生き残るためには、施工能力を上げて住宅の付加価値をより高めるとともにターゲットを高収入の顧客にシフトすることが必要だと思う。

リーズナブルな価格帯で売り出している企画住宅の提案は難しい局面にある。注文住宅をメインとする形に転換したい。注文7割、企画3割の比率で進めたい。

―25年末に北広島市で新プレカット工場が本格稼働した。どのような展開を考えているのか。

旧工場の老朽化に伴い、同じ輪厚工業団地内に新工場を設けた。今後、当社の住宅機能を体感できるような施設も備えようと考えている。27年までに公開したい。

―木造賃貸住宅「LAPEACE（ラピス）」の供給は。

26年は、土屋ホーム不動産が発注元となる「LAPEACE（ラピス）新さっぽろ」の1棟の施工に携わる。このほか、札幌市のプロポーザルによる「LAPEACE（ラピス）創成」はコンソーシアムで建設に参画する計画だ。もう1つ別の案件にも関わりたいと考えている。ラピスは工事費が若干高いが、一度入居した顧客が出たがらない住まいを提供していることから、長期で賃貸の安定経営ができると見ている。

公営住宅の営業にも力を入れる。PFI事業で進めた恵庭の事例をきっかけに、道央や道北を中心に4つの自治体から引き合いがある。このうち2つの自治体ではサウンディング調査が進む。老朽化した公営住宅の更新は活躍の場だと考えている。事業ポートフォリオも木造非住宅や公営住宅の割合を増やしたい。

平和不動産

「SAPPORO ONE」に

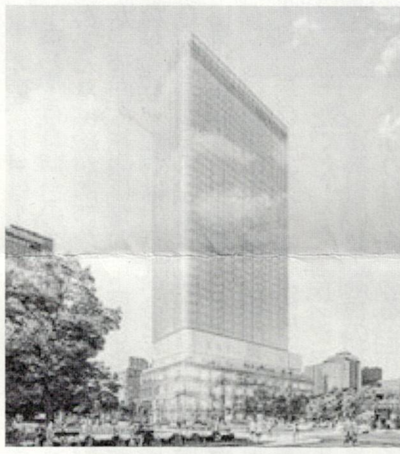
大通西4丁目の新ビル名称

平和不動産（東京）は1月6日、札幌駅前通と大通公園が交わる札幌市中央区大通西4丁目で建設中のビルの名称を「SAPPORO ONE（サッポロ ワン、略称サッポロワン）」に決めたと発表した。4階と27～35階にハイアットホテルズコーポレーション（米国）のラグジュアリーホテル「パークハイアット札幌」が出店。札幌都心の活性化を目指す。

RC一部S造、地下3地上36階、延べ9万9800㎡の規模で、高さは約185m。ホテルに加え、商業施設や駐車場などが入る計画だ。敷地面積は5030㎡。2025年10月に着工し、29年8月の竣工を予定する。

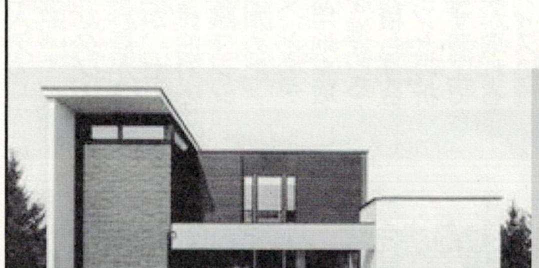
名称のサッポロワンは札幌で唯一無二の価値が生まれる拠点、略称のサツワンには市民や来訪者から親しみを込めて呼んでもらいたいという想いをそれぞれ込めた。

パークハイアット札幌は客室数157室で、屋内プールや宴会場などを備える。

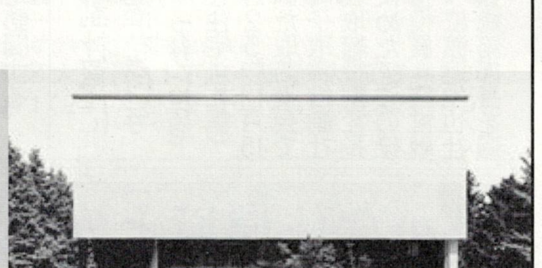


建設中のビルの完成予想図
（平和不動産提供）

2BRAND
2つの注文住宅ブランド


北上モデルハウス

確かな品質の証
2022年度 省エネ大賞（製品・ビジネスモデル部門）
2022(R4)年 省エネ大賞 最高賞
GOOD DESIGN 2023(R5)年 グッドデザイン賞


AND LABO. 札幌豊平モデルハウス AND LABO.

フルオーダー
CARDINAL HOUSE
あなただけの理想を叶える
・アーキテクトによるオーダーメイドデザインの注文住宅

「CARDINAL HOUSE BES-T019（ベスト ゼロ・ワン・ナイン）」が、2022年度省エネ大賞 製品・ビジネスモデル部門最高賞「経済産業大臣賞（ZEB・ZEH分野）」を受賞しました。

規格住宅「LIZNAS AND SELECT」が2023年度グッドデザイン賞を受賞。「ワクワク」する「未来」という切り口からデザインしたゼロエネルギーハウスが評価されました。

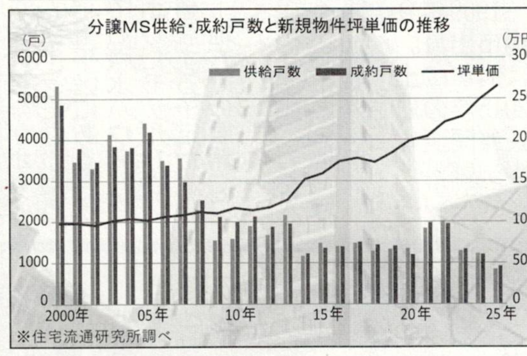
セレクト・セミオーダー
LIZNAS
性能も、デザインも、家族の楽しみも我慢しない
好きを選ぶだけのお手頃な注文住宅

豊かさの人生を創造する 土屋ホーム
土屋ホーム 検索
www.tsuchiyahome.jp

札幌の新築分譲マンション
供給減に歯止め掛からず
25年は1000戸割る
住宅流通研究所まとめ

札幌市内で新築分譲マンションの供給減少に歯止めが掛からない。住宅流通研究所（札幌）によると、2025年は843戸にとどまり、同研究所の調査記録が残る1988年以降、初めて1000戸を割った。成約は917戸にとどまり、最低の水準。建築費高騰や人手不足の影響による販売価格上昇に実需層が二の足を踏んでいる。デベロッパーは富裕層にターゲットを絞るほか、民泊型物件の拡大などに活路を見いだす。（関連記事8面）

25年の新規供給は1月に103戸、2～8月までは60戸前後と低迷が続いた。その後、タワーマンションの販売開始があり、9月に114戸、11月は131戸と100戸台のまとまった供給があったが、通年の結果は奮わなかった。成約は100戸以上が2月、9月、12月しかなく、年間合計では1000戸を割った。



※住宅流通研究所調べ

富裕層にターゲット　民泊型物件を拡大

建築費の値上がりは販売価格に跳ね返るため、実需層はますます購入を控える悪循環となっている。平均坪単価は長らく右肩上がりで、25年は265万円まで上昇した。20年前と比べると2・6倍、10年前では1・7倍。1戸5000万円近くの物件が多くを占めるようになり、新築分譲マンションの購入は〝高根の花〟になりつつある。

札幌市内で販売代理を担う不動産業経営者は「4、5年前は建物のデザインや共用部分などに費用を掛けられた。今は建築費が上がったため、予算に余裕がなく、内装などで見劣りしている」と指摘。築古だが部屋が広く、割安な中古物件に需要が流れていると嘆く。

別の業者は「東京で札幌の新築物件の説明会が頻繁にあり、経営者や医者などターゲットを絞って営業するケースが増えている」と明かす。

大手マンションデベロッパーは、採算が確保できる都心部や円山地区など人気エリアに供給を集中。これまで少なかったタワーマンションの計画が多く浮上するほか、セカンドハウスや民泊対応に特化した分譲マンションが普及し始めた。

しかし、どのデベロッパーも用地を取得して計画を進めるものの、「見積もり合わせでゼネコンとの折り合いが付かず着工できない。採算が取れるホテルやオフィスに流れている」という。

今後も建築費が下がる見通しはないことから、観光や賃貸投資など他分野の事業参入に舵（かじ）を切る業者も出てきた。

政策金利上昇
長期金利固定住宅ローンに関心
フラット35は25年申請5割増、取得者の受け皿に

日本銀行による政策金利の上昇局面を受け、長期間金利固定型の住宅ローンプランに関心が集まっている。道内では短期間固定や変動型を選ぶケースが多かったが、この動きに一服感が出てきた。住宅金融支援機構（東京）のフラット35は2025年の申請数が前年比50%増加。物価と金利のダブル上昇にある中、支払い見通しの立てやすさから住宅取得者の受け皿となっている。

日銀が25年12月19日の会合で政策金利を0・25ポイント引き上げ、0・75%とした。マイナス金利解除から2年足らずで3回の利上げを重ねる。日銀は追加利上げにも意欲的で、金融機関関係者は26年内に1%に届くのは確定的との見方が強い。

返済計画が立てづらい環境下で、最長で金利が35年間固定のフラット35に人気が集まる。道内の申請数では、24年10月から前年を上回るペースで増えていて、25年の累計では前年よりも50%増の1393件に上っている。同機構が示した26年1月時点の借入金利水準は、融資率9割以下の場合で最低2・08%とし、17年10月からの現行制度で初めて2%を超えた。それでも、変動金利が上昇しているため、固定型が選ばれつつある。

最近では、最長借入期間を50年とする「フラット50」の申し込み件数も大きく伸びているとした。同機構の担当者は「金利上昇で関心が高まり、申請は今まで以上に増えている。資金調達の工夫などで利用しやすい金利水準に努める」と述べ、シェア拡大を図る。

固定金利特約の選択にも影響が出てきそうだ。北海道労働金庫（札幌）のローン担当者は、3年固定の申込みが圧倒的に多いとした上で、「今後は5～10年特約も想定に入ってくる。税制や国、自治体の支援も注視している」と見通す。

北海道銀行（札幌）は新規受付時の住宅ローン金利を選択する際、特約期間が短期化する傾向あったが、足元では動きに一服感が出ていると見る。

一方、北洋銀行（札幌）は、マイナス金利が解除された24年3月以降、より低い金利を選ぶ傾向にあると説明する。「当行の店頭基準金利（1月時点）は固定金利よりも変動金利の方が低いため、固定金利の再特約は締結せずに、変動金利のままという利用者が多い」（北洋銀担当者）とし、動きに変化はないとみる。

金利が上昇する中、住宅販売の営業に関しては大きな混乱は見られない。札幌市内に拠点を置くハウスメーカー経営者は「顧客は、金利が上がっていてもどれくらいの影響があるか、はっきりと分かっていないように感じる。一組一組に合った提案をする」と話す。

北海道住宅都市開発協会の担当者は「変動金利から長期間固定型への乗り換えが増えている。金利だけでなく建築コストも上昇しているため、今後を見通せば今が買い時なのでは」と前向きな姿勢を見せている。

斗南病院跡地活用はホテル、MSなど意見
道財務局の国有地市場調査結果

北海道財務局はこのほど、2025年11月までに実施した国有地の市場性に関するサウンディング調査の結果をまとめた。札幌市中央区北1条西6丁目6の旧斗南病院跡地（1332㎡）に対し、ホテルや分譲マンション運営が可能との意見が集まるなどした。結果は25年12月22日に公表した。

中央区ではこのほか、南9条西23丁目1（6252㎡）に低層賃貸マンションやショッピングセンターなどの活用が可能との意見が出た。北4条西17丁目19の6、22（1886㎡）は宅地のほか北円山ブランドをいかした社会福祉施設展開が見込めるとの回答があった。

豊平区美園9条8丁目2の1（4213㎡）は大型公園が近いことから住居用として魅力的な一方、マンション用としては広いことへの懸念が挙がった。月寒東2条8丁目580の111、120（2万8186㎡）は、広大かつ地下鉄駅に近いため幅広い事業で活用が見込めると注目された。売却と並行して定期借地契約による活用も、初期費用を抑えられるなど高評価となった。25年度末までに同局財産となることを見据えた先行調査。担当者は「関心が強いと改めて認識した」と話した。

今回の結果を受け留保財産からの除外や利用方針案の策定をする場合は例年5月頃に開く国有財産北海道地方審議会で諮問する。

三浦副社長に代表権を付与
アサヒ住宅

アサヒ住宅（札幌）は、2025年12月15日に開いた取締役会で三浦恵美子取締役副社長の代表取締役副社長就任を決めた。このほか、執行役員（経営戦略本部）に渡邊俊也社長室長兼総務部長を選任した。

豊かな住環境と安心のマイホーム
＝土地の有効活用をお手伝いします＝
NICHIDO
株式会社　日動
札幌市中央区南1条西1丁目　シルキービル　☎232－3237

SEKISUI HEIM
家族の時間を大切にする
「平屋ライフ」を
セキスイハイムの
平屋住宅で見つけてみませんか？

今、世代を問わず建てられている平屋住宅
必要なものだけを取り入れたシンプルな設計と
自然や家族とゆるやかにつながる開放的な空間。
そこから生まれる家族それぞれの
豊かな暮らしをぜひ、ご確認ください。

北海道セキスイハイム株式会社
〒001-0014 札幌市北区北14条西4丁目2-1 ハーモネートビル
定休日　火・水
0120-369-816　www.hokkaido-heim.com

北海道セキスイハイム㈱はお客様情報の適正な取り扱いに努めています。上記URLをご参照くださるか、お電話にて窓口までお問い合せください。（お客様センター：0120-201-816）　※いただいたお客様情報は、北海道セキスイハイム㈱から住まいづくりや暮らしに役立つ情報をお届けすることに使用し、それ以外の目的で使用することはございません。

道内不動産のデジタル証券販売へ

三井物産デジタル・アセットマネジメント
田本　英輔　北海道支社長

インタビュー

三井物産デジタル・アセットマネジメント(東京)は、年内にも個人向け電子証券サービス「オルタナ」で道内不動産のデジタル証券を販売する。田本英輔北海道支社長は、事業拡大を進め、5年後に同社の資産運用額2000億円の10%を道内不動産で占めたい考えだ。

たもと・えいすけ　1996年8月生まれ。帯広市出身。東大法学部在学中にインターンでＬａｙｅｒＸ(東京)に参画し、卒業後に入社。三井物産デジタル・アセットマネジメントの設立に携わり、20年4月の設立と同時に同社へ。25年11月から現職。

同社はオルタナによる大型不動産への個別投資サービスを手掛ける。2025年11月27日に北海道支社を設立。道内不動産の証券化推進と、貯蓄意識が高い道民の投資への転換支援が目的だ。サービスを利用している道内投資家は全体の2・5%にとどまる。

田本支社長は道内の人口比で計算すると、5~6%まで伸ばせると分析。「地元商品であれば、投資を試してみようとする動きも出る」と考え、道内不動産のデジタル証券販売に向けた動きを進めている。運用物件は他地域と同様にマンションやホテルを中心とし、大型商業施設やデータセンターなども視野に入れる。

札幌圏や函館の物件検討
再開発事業参画も視野に

年内に販売する最初のデジタル証券は、安定性と収益性が見込める札幌圏や観光地として成熟する函館の物件を検討。複数の企業と協議を進めている。

北海道支社では、5年後に全社運用資産2000億円の10%に当たる200億円を道内不動産で占めることを目標に掲げる。札幌駅前再開発をはじめ、苫小牧や帯広など道内各地で進む再開発事業への参画も視野に動向を注視する考えだ。並行して道内金融機関との連携強化も進める。個人投資家向けの商品提供や、金融機関自身が投資としてデジタル証券を活用するなど、さまざま方法での連携を検討する。

北海道支社開設と同時に、道内に絞った不動産投資信託(REIT)「北海道リート」を運用する北海道アセットマネジメント(札幌)と連携協定を締結。物件調達やファンドの組成で連携する。反響があり、地域ファンドを作りたいという企業からの問い合わせも来ている。

帯広出身で北海道への愛着も強いと語る田本支社長。道内での事業拡大に向け、歩みを進める。

フェザーホーム未完成工事7件

ロゴスホームが承継

破産手続き開始受け、施主救済

ロゴスホーム(帯広)は、2025年10月27日に破産手続き開始決定を受けたフェザーホーム(札幌)が破産申し立て前に着手した未完成工事7件の請負契約を承継した。対象となる未完成工事の施工継続と完成後の引き渡しに関してロゴスホームが責任を負う。

高級住宅の建築を手掛けていたフェザーホームは、急激な業容拡大などにより資金繰りが悪化。25年10月14日付で札幌地方裁判所に自己破産を申請した。フェザーホームで着手されたまま未完成となっている7件の請負契約の承継は、施主への救済として建物の完成と安心の提供を最優先することが目的だ。

担当者は、請負契約承継の対象となった物件の施工再開に関し、「顧客との調整を終えて準備が整った物件から順次工事を再開している状況。全物件をできるだけ早く完成させ、引き渡しができるように進める」と話した。

アーキテックプランニングを子会社化

積水化学工業、道内事業拡大へ

積水化学工業(東京)は1月5日、道内で木造注文住宅の施工を手掛けるアーキテックプランニング(札幌)の全株式を1日付けで取得したと発表した。販売や施工、仕入れなどで連携。道内でさらなる事業拡大を目指す。

積水化学は道内で鉄骨ユニット住宅「セキスイハイム」を提供している。

担当者によると、道内の顧客から木造を要望する声があり、木造住宅を手掛ける企業との連携を模索。2024年11月ごろからアーキテックプランニングと協議を進め、今回の連携に至った。同社のノウハウを活用し、鉄骨と木造の両輪で販売戦略を実施。多様化する顧客ニーズへの対応を図る。

今回の連携では、両社の協力会社を相互活用し、施工時期の平準化や職人不足にも対応。効率的な輸送体制を構築する。仕入れ面では、アーキテックプランニングの地場ネットワークを共有し、住宅設備の一括仕入れや供給体制の安定化に取り組む。

空間を自在にクリエイト　斬新な発想力でマンションをコーディネート
自社ブランド「グランファーレ」マンションシリーズ
GRAND FARE SERIES
日本グランデ株式会社
NIPPON GRANDE
本社所在所
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目1番地1 大通ビル 7F
TEL：011-210-0073　FAX：011-210-0081
東京支店
〒105 - 6027 東京都港区虎ノ門4丁目3番1号 城山トラストタワー 27F
TEL：03-5404-8160　FAX：03-5404-8161
■宅地建物取引業免許 国土交通大臣(4)第7575号　■一級建築士事務所登録 北海道知事登録(石)第4881号
■建設業許可 北海道知事許可(特-28)石第19392号　■公益社団法人 全国宅地建物取引業保証協会会員
■公益社団法人 北海道宅地建物取引業協会会員　■社団法人 北海道住宅都市開発協会会員
■一般社団法人 北海道不動産公正取引協議会会員　■財団法人 東日本不動産流通機構会員
■社団法人 北海道建築士事務所協会会員
札幌証券取引所
アンビシャス市場
(証券コード：2976)
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

Fujii BUILDING
もっと素敵な街づくり。
藤井ビル
マンション・店舗・オフィスの賃貸事業
分譲マンション・宅地開発・不動産仲介・販売事業
不動産有効活用のコンサルティング事業
営業直通お気軽に TEL.011(231)4040
公益社団法人北海道宅地建物取引業協会会員
札幌市中央区大通西11丁目4番地 大通藤井ビル
代表TEL.011(221)3939　FAX.011(222)1401

ふれあいの心を大切に、豊かなマンションライフを創造する――。
CLEAN RIVER
Finesse
クリーンリバーの高品位マンション　フィネスシリーズ
求む マンション用地
担当　向江(むかえ)　照井(てるい)
用地部直通　011-688-7616
フリーアクセス　0120-112-833
詳しくはクリーンリバーホームページをご覧ください。
クリーンリバー　検索
http://www.117cr.com
北海道知事石狩(12)第2831号
株式会社クリーンリバー
〒063-0031 札幌市西区西野1条1丁目10-2
TEL.011-663-8088 FAX.011-663-7875

不動産統計情報

12月の札幌市建築確認　個人住宅とアパートが増加

２０２５年１２月の札幌市建築確認済件数は、個人住宅が前年同月から１０％ほど増え２７２戸、アパートが５.１％増の４１戸だった。マンションは３割ほど減っている。４月からの累計はマンション、アパートがそれぞれ３割強、４割弱減り、個人住宅は１割強落ち込んでいる。

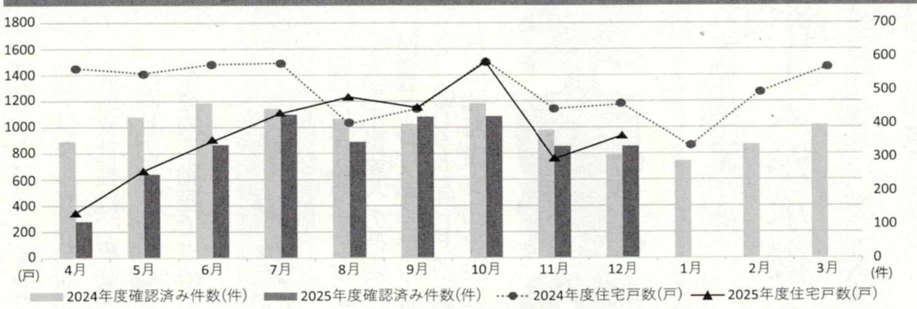
札幌市内開発許可（2025年12月16日～2026年1月22日）

※出典：札幌市

この期間の札幌市内の開発許可申請は0件でした。

札幌市の確認済件数・住宅戸数

※出典：札幌市



※2025年度の各数値は速報値のため、次回公表時には変わる可能性があります。

道内新設住宅着工戸数〈11月〉

※出典：国土交通省

●道内利用関係別新設住宅

年月	持ち家	貸家	給与	分譲	合計
2024.9	715	1,345	18	268	2,346
10	811	1,484	37	230	2,562
11	793	1,827	22	217	2,859
12	546	1,313	29	209	2,097
2025.1	372	501	29	105	1,007
2	459	708	17	215	1,399
3	950	2,486	61	466	3,963
4	403	918	215	348	1,884
5	399	389	50	290	1,128
6	583	766	46	218	1,613
7	745	1,214	38	218	2,215
8	663	1,156	14	196	2,029
9	665	1,165	42	315	2,187
10	734	1,248	50	437	2,469
11	674	1,309	5	158	2,146
前年11月比	85.0%	71.6%	22.7%	72.8%	75.1%

●道内注文住宅

年月	戸数	前年比
2024.9	715	112.8%
10	811	129.6%
11	793	119.8%
12	546	92.4%
2025.1	372	98.9%
2	459	106.5%
3	950	179.9%
4	403	55.4%
5	399	57.8%
6	583	69.0%
7	745	93.8%
8	663	94.3%
9	665	93.0%
10	734	90.5%
11	674	85.0%

●道内建て売り住宅

年月	戸数	前年比
2024.9	188	100.5%
10	195	136.4%
11	199	111.2%
12	209	90.9%
2025.1	101	116.1%
2	161	162.6%
3	263	190.6%
4	134	74.9%
5	62	44.6%
6	129	62.9%
7	154	93.9%
8	154	96.3%
9	198	105.3%
10	183	93.8%
11	152	76.4%

※長屋含む

●道内分譲マンション

年月	戸数	前年比
2024.9	80	96.4%
10	35	5.3%
11	18	皆増
12	0	-
2025.1	4	14.3%
2	54	皆増
3	203	106.8%
4	214	97.3%
5	228	3.5 倍
6	89	55.6%
7	64	55.2%
8	42	皆増
9	117	146.3%
10	254	7.3 倍
11	6	33.3%

※木造の分譲共同住宅含む

●道内賃貸マンション

年月	戸数	前年比
2024.9	846	89.1%
10	927	85.6%
11	1,267	155.5%
12	988	122.3%
2025.1	283	97.9%
2	515	88.9%
3	1,933	178.2%
4	587	33.0%
5	225	21.8%
6	489	49.4%
7	805	64.3%
8	907	112.0%
9	677	80.0%
10	874	94.3%
11	1,014	80.0%

●道内プレハブ住宅

年月	戸建て	長屋	共同	合計	前年比
2024.9	48	2	70	120	162.2%
10	63	7	12	82	98.8%
11	75	31	120	226	188.3%
12	67	7	0	74	75.5%
2025.1	37	19	0	56	93.3%
2	53	2	0	55	77.5%
3	45	12	24	81	135.0%
4	45	4	0	49	65.3%
5	44	14	0	58	81.7%
6	64	13	0	77	84.6%
7	46	62	0	108	67.9%
8	56	5	0	61	31.8%
9	49	8	0	57	47.5%
10	48	11	40	99	120.7%
11	84	23	0	107	47.3%

●道内ツーバイフォー住宅

年月	戸建て	長屋	共同	合計	前年比
2024.9	253	97	45	395	99.7%
10	304	65	120	489	134.7%
11	273	43	94	410	99.0%
12	242	27	51	320	76.9%
2025.1	167	46	6	219	111.7%
2	226	40	61	327	153.5%
3	349	47	63	459	163.3%
4	135	34	38	207	40.7%
5	150	10	22	182	53.1%
6	185	36	27	248	57.7%
7	282	42	79	403	103.3%
8	229	30	23	282	72.9%
9	243	70	117	430	108.9%
10	252	14	96	362	74.0%
11	191	26	58	275	67.1%

●道内木造・鉄骨アパート

年月	木造AP	鉄骨AP	合計	前年比
2024.9	348	8	356	148.3%
10	358	31	389	126.7%
11	361	0	361	118.8%
12	234	0	234	90.7%
2025.1	111	23	134	2 倍
2	115	0	115	59.6%
3	287	41	328	163.2%
4	76	156	232	88.5%
5	87	17	104	20.8%
6	144	0	144	52.4%
7	247	16	263	59.6%
8	179	0	179	47.7%
9	329	23	352	98.9%
10	289	0	289	74.3%
11	174	0	174	48.2%

札幌市建築確認済件数〈12月〉

※出典：札幌市

■個人住宅（注文、建て売り）

	2024年度	2025年度	前年比
4月	279	81	29.0%
5月	352	212	60.2%
6月	394	293	74.4%
7月	363	376	103.6%
8月	361	301	83.4%
9月	336	379	112.8%
10月	389	364	93.6%
11月	320	293	91.6%
12月	247	272	110.1%
1月	242		
2月	282		
3月	332		
累計(4-12月)	3,041	2,571	84.5%

■個人住宅の増改築

	2024年度	2025年度	前年比
4月	7	1	14.3%
5月	8	1	12.5%
6月	7	1	14.3%
7月	10	2	20.0%
8月	5	5	100.0%
9月	8	3	37.5%
10月	8	5	62.5%
11月	3	2	66.7%
12月	1	6	6倍
1月	4		
2月	1		
3月	6		
累計(4-12月)	57	26	45.6%

■マンション（戸数）

	2024年度	2025年度	前年比
4月	1,100	245	22.3%
5月	989	411	41.6%
6月	1,038	528	50.9%
7月	1,112	664	59.7%
8月	526	934	177.6%
9月	735	761	103.5%
10月	1,038	878	84.6%
11月	724	444	61.3%
12月	910	613	67.4%
1月	574		
2月	949		
3月	859		
累計(4-12月)	8,172	5,478	67.0%

■アパート（戸数）

	2024年度	2025年度	前年比
4月	56	17	30.4%
5月	51	22	43.1%
6月	68	76	111.8%
7月	59	73	123.7%
8月	86	24	27.9%
9月	78	33	42.3%
10月	75	72	96.0%
11月	96	26	27.1%
12月	39	41	105.1%
1月	22		
2月	46		
3月	272		
累計(4-12月)	608	384	63.2%

●中古住宅の仲介サービス
●住宅地・商業地の仲介
●その他不動産の売買

お気軽にご相談下さい！

●ホームページです。ご利用下さい。
ホームページ/http://www.teradasyouji.com
Eメール/honsya@teradasyouji.com

北海道知事免許　石狩(12)第2232号
丸栄寺田商事株式会社
〒002-8027　札幌市北区篠路7条3丁目（寺田ビル）
TEL011(771)0811　FAX(771)8111
太平店／札幌市北区太平9条5丁目　TEL(011)771-0815

北海道住宅産業新聞
ホームページ

紙面に先駆けた情報も
随時配信中

住まいのトータルコーディネーター
●お気軽にご相談下さい――――――。

☎(011)644-2692

（札幌市内・近郊のお部屋探し、賃貸、不動産売買・斡旋・管理、賃貸アパート、マンション総合管理、その他リフォーム）

宅建業免許／北海道知事免許石狩(6)4979号
(公社)北海道宅地建物取引業協会会員
株式会社ベン
●札幌市中央区北５条西26丁目
☎644-2692　FAX 621-1855

Information

住宅金融支援機構

住宅ローン利用者（2024年度以前借入者）の実態調査結果を公表

住宅金融支援機構は、住宅ローン利用者（２０２４年度以前借入者）の実態調査結果をまとめた。

本調査は、２０２５年3月までに住宅ローンを利用して住宅を取得し、住宅ローン返済を継続している方を対象に、住宅ローン返済の負担感の変化、金利リスクに対する意識等について調査した。

1　負担感の変化
―物価上昇等により住宅ローン返済者の４割が実質的な負担感が大きくなったと回答―

(設問) 住宅ローンを借り入れた当初と比べて、住宅ローン返済の実質的な負担感は変わりましたか。

「大きくなった」：14.8%
「やや大きくなった」：23.0%
「ほとんど変わらない」：56.0%
「やや小さくなった」：4.6%
「小さくなった」：1.6%

2　返済にあたり不安に思っていること
―変動・固定期間選択・全期間固定のいずれの金利タイプにおいても「物価の上昇」が最多―

(設問) 今後、住宅ローンを返済していくにあたり、不安に思っていることはありますか。

＜変動金利タイプ＞
「物価の上昇」　：57.0%
「借入金利の上昇」：55.0%
＜固定期間選択タイプ＞
「物価の上昇」　：53.3%
「借入金利の上昇」：31.8%
＜全期間固定金利タイプ＞
「物価の上昇」　：57.2%
「想定外の大きな支出」：24.2%

3　金利変動リスクに対する意識の変化
―変動金利タイプの住宅ローン返済者の約５割が借入当時と比べて不安に感じるようになったと回答―

(設問) 住宅ローンを組んだ当時と比べて、金利変動リスクに対する意識は変わりましたか。

「かなり不安を感じるようになった」：13.8%
「少し不安を感じるようになった」：39.7%
「変わらない」：39.0%
「あまり不安を感じなくなった」：4.0%
「まったく不安を感じなくなった」：3.4%

札幌市の中古マンションの区別平均成約価格（2025年1月～12月　3LDK・築15年～25年未満）

※出典：独自集計

	2025年1月	件数	2月	件数	3月	件数	4月	件数	5月	件数	6月	件数	7月	件数	8月	件数	9月	件数	10月	件数	11月	件数	12月	件数
中央区	4,174万円	5	3,760万円	9	4,328万円	9	3,961万円	7	3,297万円	6	3,265万円	4	4,429万円	10	3,449万円	4	4,135万円	7	5,537万円	7	3,965万円	6	4,217万円	9
北区	3,800万円	1	9,400万円	1	4,180万円	1	8,000万円	1	3,545万円	2	3,070万円	2	3,980万円	1	3,080万円	1	2,750万円	1	2,910万円	3	3,180万円	1		0
東区	2,090万円	2	2,965万円	2	2,700万円	1	2,743万円	3	2,253万円	3	2,782万円	5	2,950万円	2	2,933万円	3	2,780万円	1	2,780万円	1	3,200万円	5	3,349万円	3
白石区	3,058万円	4	3,540万円	2	3,030万円	2	3,145万円	4	3,780万円	2	2,280万円	1	3,150万円	2	3,480万円	2	3,215万円	4	3,350万円	1	2,530万円	1	2,750万円	1
厚別区	2,790万円	1		0	3,580万円	2	3,680万円	1		0	3,780万円	1		0		0	2,580万円	1		0		0		0
豊平区	2,750万円	1	2,915万円	6	2,490万円	4	3,420万円	2	3,490万円	2	2,690万円	2	3,158万円	4	2,815万円	2	2,350万円	1	3,167万円	3	2,850万円	3	2,800万円	4
清田区		0		0		0	2,750万円	1		0		0	2,750万円	1		0		0	1,970万円	1		0		0
南区		0		0		0		0	950万円	1		0	2,000万円	1		0	2,030万円	2	2,230万円	1	2,450万円	1	2,450万円	1
西区	3,475万円	2		0	3,700万円	2	3,187万円	3	2,790万円	2	3,935万円	2	2,600万円	1	4,065万円	2	2,840万円	3	3,570万円	2	3,153万円	3	3,273万円	4
手稲区	2,260万円	1		0		0	3,280万円	1		0	2,480万円	1	3,150万円	1	3,100万円	1		0		0		0		0

▲上記QRコードを読みこむと左記表のグラフが表示されます

※空欄は成約実績なし

札幌市の中古戸建て住宅の区別平均成約価格（2025年1月～12月）

※出典：独自集計

	2025年1月	件数	2月	件数	3月	件数	4月	件数	5月	件数	6月	件数	7月	件数	8月	件数	9月	件数	10月	件数	11月	件数	12月	件数
中央区	4,885万円	2	5,695万円	4	5,058万円	4	6,528万円	5	7,357万円	9	4,022万円	11	5,599万円	10	4,070万円	8	4,648万円	12	6,429万円	7	4,369万円	9	4,660万円	6
北区	2,609万円	21	2,618万円	20	2,669万円	29	2,336万円	25	3,038万円	24	2,215万円	39	2,352万円	24	2,269万円	31	2,407万円	34	2,393万円	37	2,203万円	30	2,544万円	25
東区	2,609万円	19	2,860万円	16	3,041万円	20	2,820万円	21	2,381万円	28	3,148万円	24	2,963万円	20	3,004万円	18	2,713万円	22	2,436万円	25	2,656万円	25	2,916万円	13
白石区	2,743万円	12	2,747万円	10	3,008万円	23	2,832万円	16	2,881万円	15	2,776万円	12	3,036万円	15	2,388万円	10	2,536万円	15	3,231万円	9	2,848万円	5	2,990万円	15
厚別区	3,012万円	9	3,083万円	13	3,073万円	8	2,565万円	4	2,330万円	8	2,343万円	6	2,246万円	7	3,543万円	7	2,902万円	5	2,607万円	9	2,749万円	7	3,051万円	6
豊平区	3,408万円	14	2,790万円	17	3,894万円	8	5,107万円	9	3,036万円	11	3,079万円	9	3,368万円	12	3,275万円	15	3,094万円	13	3,297万円	9	3,370万円	8	3,618万円	5
清田区	2,410万円	11	1,767万円	11	2,194万円	18	1,998万円	8	2,154万円	10	2,195万円	18	2,551万円	15	1,940万円	21	2,390万円	15	2,097万円	15	2,561万円	14	1,863万円	10
南区	1,677万円	13	2,116万円	17	2,002万円	9	1,563万円	18	1,768万円	25	2,010万円	18	1,467万円	24	1,558万円	13	1,327万円	14	1,477万円	19	1,451万円	22	1,752万円	17
西区	2,405万円	16	2,748万円	15	2,808万円	22	2,357万円	17	3,389万円	14	3,134万円	16	2,558万円	19	3,032万円	19	2,790万円	20	3,031万円	17	2,985万円	20	2,515万円	12
手稲区	2,159万円	13	2,268万円	18	1,945万円	22	2,241万円	12	2,237万円	19	2,024万円	22	2,215万円	20	2,426万円	23	2,591万円	12	2,367万円	15	2,374万円	25	2,217万円	21

▲上記QRコードを読みこむと左記表のグラフが表示されます

札幌市内貸家建築確認申請数（2025年11月）主要な施工会社の状況（一部不明戸数あり）※30戸未満除く

※出典：住宅流通研究所

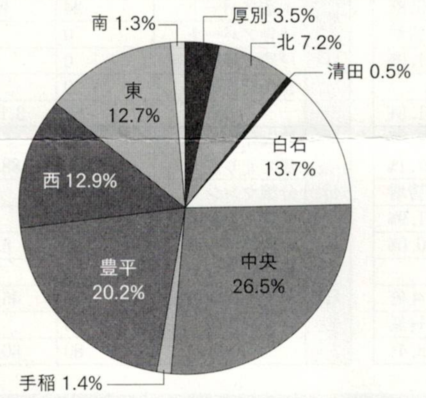
施工会社	棟数	戸数
CMS ホールディングス	12	189
TKstyle	2	31
アイケン工業	2	43
アヴェニール１級建築	2	34
アサヒ住宅	10	57
アスク工業	19	313
アトラスネオ	3	50
ウッドテック	8	99
エイビーシー建設	8	168
エフリード	27	424
エムズインダストリー	7	95
エルクリエイト	20	423
オール	10	288
オリエント建設	10	151
クラス	6	106
ゲートワン	3	50
コムズ	11	189
サン建築設計	42	912
ジョイナス	10	176
スターマンプロジェクト	17	311
ノースファインプランニング	9	136
フォレスタ	17	293

施工会社	棟数	戸数
フォレスト	2	40
マイダ工務店	2	39
ミサワホーム北海道	4	66
リサイドワン	7	120
リプラス	8	151
丸菱建設	5	138
宮川建設	8	240
京泉	5	43
松村組	1	60
新太平洋建設	1	98
禅工	12	174
創和リビングサービス	2	36
大田工務店	3	31
大和日建	5	74
潮産業	9	111
東日本工建	3	63
東洋建設	6	86
藤井工務店	2	55
飛島建設	1	80
日本地建	3	38
翼工務	4	83

札幌市内貸家建築確認申請数（2025年11月）区別（戸数・棟数）

※出典：住宅流通研究所

区	棟数	戸数
厚別	16	242
北	36	490
清田	4	37
白石	61	938
中央	83	1,806
手稲	9	97
豊平	84	1,381
西	52	880
東	55	869
南	8	86
総計	408	6,826



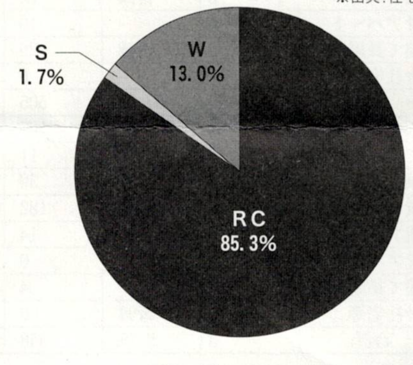
札幌市内貸家建築確認申請数（2025年11月）階数別

※出典：住宅流通研究所

階数	棟数	戸数	占有率（棟数）
1～2階	41	275	4.0%
3階	25	191	2.8%
4階	250	4,184	61.3%
5階	82	1,685	24.7%
6～9階	3	100	1.5%
10階～	7	391	5.7%
総計	408	6,826	100.0%

札幌市内貸家建築確認申請数（2025年11月）構造別（棟数）

※出典：住宅流通研究所



※割合の合計は四捨五入の関係で100％にならない場合がある

北住都、リノベーション物件を視察

竹内建設が施工

室内断熱材入れ替え「ソトダンプラス」も

新築と同等の性能実現

JJJ断熱診断で見える化

北海道住宅都市開発協会は1月16日、札幌市豊平区西岡4条10丁目で竹内建設（札幌）が施工したリノベーション物件の視察会を開いた。室内断熱材の入れ替えと「ソトダンプラス工法」による外断熱の改修を同時に施工。断熱性能と耐震性能の改善に着手した。

工事費は約2300万円。築42年の住宅を解体せずに、リノベーションした。外断熱の改修には高性能断熱材「キューワンボート」を上張りし、外壁材「樹脂サイディング」で仕上げた。

同社の竹内哲也社長は「新築と同等の断熱性能を実現した」と紹介。経済産業省の「既存住宅のZEH改修実証支援事業」にも採択されている。

リノベーション前後の断熱性能比較には、J建築システム（札幌）の「JJJ断熱診断」を使用。赤外線カメラにより、実測で断熱性能を可視化した。今回の物件では断熱改修により、外皮平均熱貫流率（UA値）の実測値が0・89から0・28まで改善。年間の光熱費が約11万円ほど安くなるとしている。

同社の二川智吏企画開発室長は「お客さまに具体的な数字で提案できる」と断熱診断のメリットを説明した。

全体説明終了後、参加者は室内を自由に見学。竹内社長らと意見交換を実施した。

参加者と意見交換をする竹内社長（左から３人目）

孤独死対策考える

少額短期保険協会がサミット

日本少額短期保険協会（東京）は2025年12月19日、第7回孤独死対策サミットをオンライン形式で開催した。2部構成で、孤独・孤立対策や残置物処理、高齢者入居受け入れの課題と対策を取り上げた。

同協会の花岡裕之会長は冒頭、「孤独孤立、孤独死について改めて考えていただく場となれば」とあいさつした。

第1部では内閣府孤独・孤立対策推進室の吉田康祐参事官補佐が孤独・孤立の実態把握に関する全国調査の結果をもとに、孤独・孤立の実態を紹介。国土交通省住宅局の船田一元課長補佐は残置物の処理等に関するモデル契約条項、同局の岸本眞美課長補佐が改正住宅セーフティネット法の概要を説明した。

第2部では65歳以上の部屋探しを支援するR65（東京）の山本遼代表取締役が高齢者の賃貸住宅入居の現状を解説。東京都足立区の橋本太郎絆づくり担当部長は同区の孤立ゼロプロジェクト推進活動、日本少額短期保険協会の伊藤昌記統括部長は同協会の孤独死対策委員会が作成した孤独死現状レポートの結果を紹介した。

建築・住宅セミナー

2月26日に札幌で

道建築指導センター

北海道建築指導センターは2月26日14時半から、TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前で2026年度建築・住宅セミナーを開催する。道総研建築研究本部北方建築総合研究所の高島将人研究職員と山脇克彦建築構造設計（札幌）の山脇克彦代表取締役が登壇。道内で実現しやすい木造建築物事例や木造軸組の構造デザインに関して講演する。会場とオンラインの併用開催。定員はそれぞれ100人。参加申込は2月13日までに同センターまで。

不動産統計情報

11月の道内主要都市着工　札幌市は前年同月比1割減

2025年11月の主要都市着工は、札幌市の持ち家、建て売り住宅、賃貸マンションなどで前年同月より1割ほど少ない着工となった。全体も1割弱少なかった。近郊では千歳市と北広島市で分譲マンションや賃貸マンションの着工がなく、前年同月比で9割以上減少している。

道内主要都市別着工　2025年11月

※出典：国交省

※前年同月比欄の「-」は当月と前年同月の実績が共にゼロの場合

	住宅の種類	11月(戸)	前年同月比	1月~累計(戸)	前年同期比
札幌市	個人住宅	251	89.3%	2,289	90.1%
	建て売り住宅等	81	90.0%	843	92.5%
	分譲マンション	6	皆増	959	107.8%
	賃貸マンション	928	89.3%	6,821	74.2%
	木造アパート	33	皆増	252	2.7倍
	鉄骨アパート	0	-	63	75.0%
	戸建て長屋貸家	42	70.0%	253	113.5%
	官舎社宅等	3	3倍	242	14.2倍
	合計	1,344	91.4%	11,722	84.0%
江別市	個人住宅	0	皆減	257	92.8%
	建て売り住宅等	0	皆減	56	101.8%
	分譲マンション	0	-	0	-
	賃貸マンション	20	83.3%	118	147.5%
	木造アパート	17	皆増	33	70.2%
	鉄骨アパート	0	-	0	-
	戸建て長屋貸家	0	-	59	皆増
	官舎社宅等	0	-	0	皆減
	合計	37	62.7%	523	113.7%
千歳市	個人住宅	5	22.7%	144	62.1%
	建て売り住宅等	1	100.0%	54	186.2%
	分譲マンション	0	皆減	81	4.1倍
	賃貸マンション	0	皆減	596	80.1%
	木造アパート	0	皆減	190	23.3%
	鉄骨アパート	0	-	180	皆増
	戸建て長屋貸家	0	皆減	80	69.6%
	官舎社宅等	0	-	1	50.0%
	合計	6	1.8%	1,326	67.8%
恵庭市	個人住宅	11	68.8%	153	106.3%
	建て売り住宅等	4	80.0%	16	100.0%
	分譲マンション	0	-	0	-
	賃貸マンション	35	94.6%	223	94.5%
	木造アパート	0	皆減	72	75.8%
	鉄骨アパート	0	-	16	皆増
	戸建て長屋貸家	0	皆減	25	41.0%
	官舎社宅等	0	-	0	-
	合計	50	67.6%	505	91.5%
北広島市	個人住宅	3	27.3%	107	93.9%
	建て売り住宅等	0	皆減	11	157.1%
	分譲マンション	0	-	30	皆増
	賃貸マンション	0	皆減	182	131.9%
	木造アパート	0	-	14	140.0%
	鉄骨アパート	0	-	0	-
	戸建て長屋貸家	0	-	4	4倍
	官舎社宅等	0	皆減	0	皆減
	合計	3	9.1%	348	128.4%

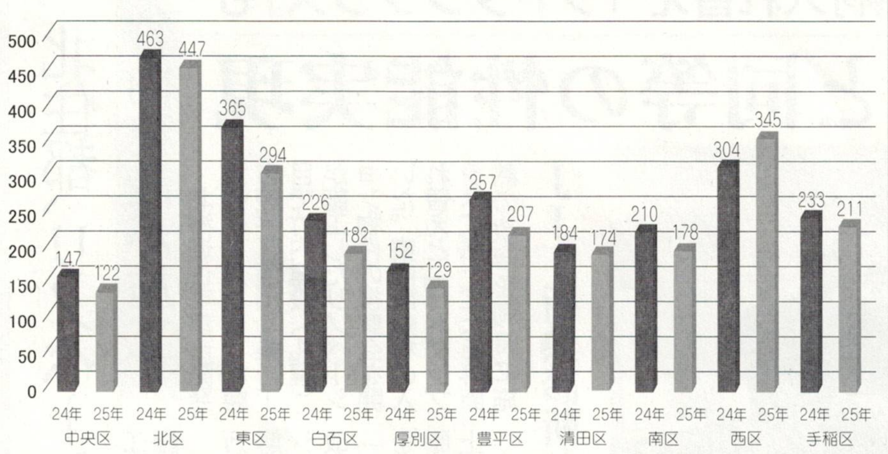
	住宅の種類	11月	前年同月比	1月~累計(戸)	前年同期比
石狩市	個人住宅	3	16.7%	149	120.2%
	建て売り住宅等	3	150.0%	15	55.6%
	分譲マンション	0	-	0	-
	賃貸マンション	0	-	0	皆減
	木造アパート	0	-	0	皆減
	鉄骨アパート	0	-	0	-
	戸建て長屋貸家	0	-	4	28.6%
	官舎社宅等	0	-	0	-
	合計	6	30.0%	168	83.2%
函館市	個人住宅	27	87.1%	284	86.9%
	建て売り住宅等	10	47.6%	162	97.0%
	分譲マンション	0	-	0	-
	賃貸マンション	0	-	113	86.9%
	木造アパート	8	皆増	16	53.3%
	鉄骨アパート	0	-	0	皆減
	戸建て長屋貸家	12	133.3%	67	100.0%
	官舎社宅等	1	皆増	4	7.7%
	合計	58	95.1%	646	83.4%
小樽市	個人住宅	4	30.8%	89	84.0%
	建て売り住宅等	0	-	8	80.0%
	分譲マンション	0	-	0	-
	賃貸マンション	0	皆減	0	皆減
	木造アパート	0	-	17	4.3倍
	鉄骨アパート	0	-	0	-
	戸建て長屋貸家	0	-	0	皆減
	官舎社宅等	0	-	3	150.0%
	合計	4	16.0%	117	63.2%
岩見沢市	個人住宅	36	2.3倍	126	129.9%
	建て売り住宅等	3	150.0%	10	142.9%
	分譲マンション	0	-	0	-
	賃貸マンション	0	-	0	皆減
	木造アパート	24	皆増	24	92.3%
	鉄骨アパート	0	-	0	-
	戸建て長屋貸家	0	-	1	10.0%
	官舎社宅等	0	-	0	-
	合計	63	3.5倍	161	103.9%
旭川市	個人住宅	44	83.0%	447	95.5%
	建て売り住宅等	22	88.0%	171	106.9%
	分譲マンション	0	-	0	-
	賃貸マンション	0	-	0	皆減
	木造アパート	2	6.9%	89	41.4%
	鉄骨アパート	0	-	0	-
	戸建て長屋貸家	12	46.2%	133	110.8%
	官舎社宅等	0	-	3	150.0%
	合計	80	60.2%	843	83.9%

	住宅の種類	11月	前年同月比	1月~累計(戸)	前年同期比
北見市	個人住宅	3	18.8%	118	69.0%
	建て売り住宅等	0	皆減	39	72.2%
	分譲マンション	0	-	0	-
	賃貸マンション	0	-	40	皆増
	木造アパート	0	-	71	74.0%
	鉄骨アパート	0	-	0	-
	戸建て長屋貸家	0	皆減	9	22.0%
	官舎社宅等	0	-	3	皆増
	合計	3	10.3%	280	77.3%
室蘭市	個人住宅	6	42.9%	67	64.4%
	建て売り住宅等	0	皆減	6	66.7%
	分譲マンション	0	皆減	0	皆減
	賃貸マンション	0	-	0	-
	木造アパート	0	皆減	45	36.0%
	鉄骨アパート	0	-	0	-
	戸建て長屋貸家	0	-	18	180.0%
	官舎社宅等	0	-	0	皆減
	合計	6	17.6%	136	51.7%
苫小牧市	個人住宅	65	197.0%	325	109.1%
	建て売り住宅等	7	100.0%	58	141.5%
	分譲マンション	0	-	0	-
	賃貸マンション	12	75.0%	42	80.8%
	木造アパート	0	皆減	187	61.5%
	鉄骨アパート	0	-	0	-
	戸建て長屋貸家	8	2.7倍	52	113.0%
	官舎社宅等	0	-	79	26.3倍
	合計	92	103.4%	743	99.9%
帯広市	個人住宅	34	117.2%	275	101.9%
	建て売り住宅等	8	2倍	79	91.9%
	分譲マンション	0	-	185	皆増
	賃貸マンション	0	-	0	皆減
	木造アパート	50	86.2%	306	68.8%
	鉄骨アパート	0	-	0	皆減
	戸建て長屋貸家	4	30.8%	35	66.0%
	官舎社宅等	0	-	4	2倍
	合計	96	92.3%	884	98.8%
釧路市	個人住宅	8	42.1%	134	73.6%
	建て売り住宅等	0	皆減	25	100.0%
	分譲マンション	0	-	4	皆増
	賃貸マンション	0	-	31	皆増
	木造アパート	0	皆減	84	61.3%
	鉄骨アパート	0	-	0	-
	戸建て長屋貸家	0	-	5	62.5%
	官舎社宅等	0	-	2	皆増
	合計	8	20.5%	285	81.0%

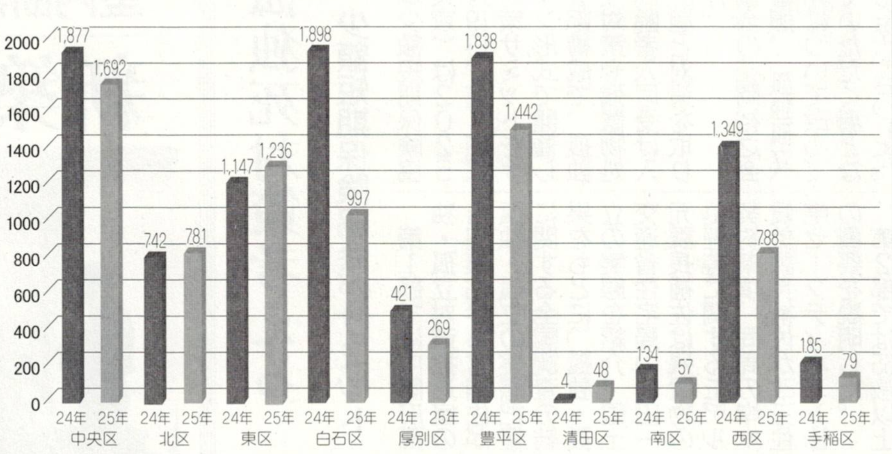
区別・利用関係別新設住宅着工戸数

※出典：国交省

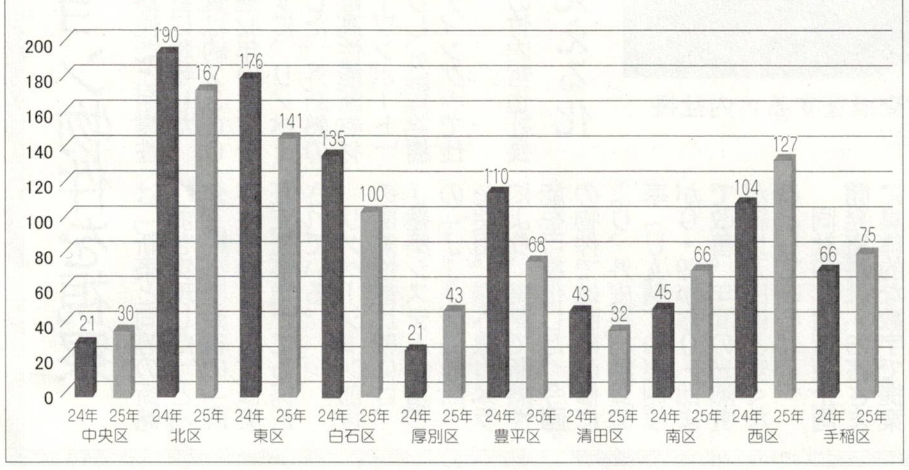
■札幌市の区別・持ち家着工戸数の2025年と2024年比較（1～11月）



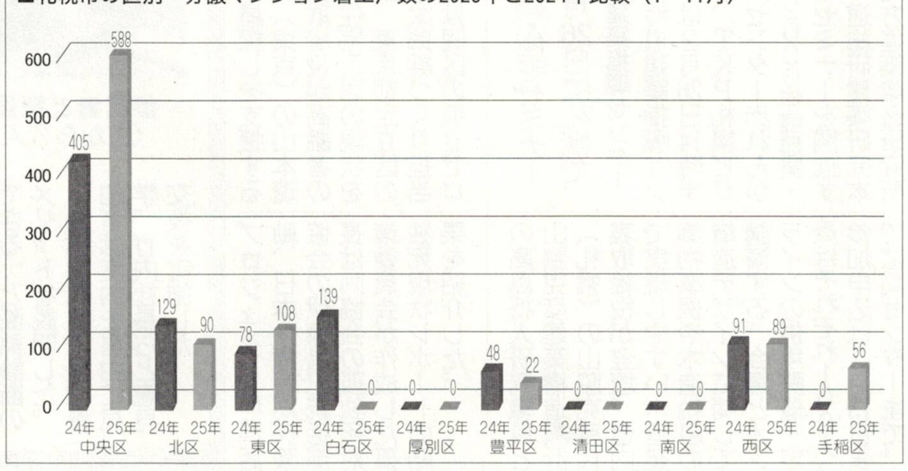
■札幌市の区別・貸家着工戸数の2025年と2024年比較（1～11月）



■札幌市の区別・建て売り着工戸数の2025年と2024年比較（1～11月）



■札幌市の区別・分譲マンション着工戸数の2025年と2024年比較（1～11月）

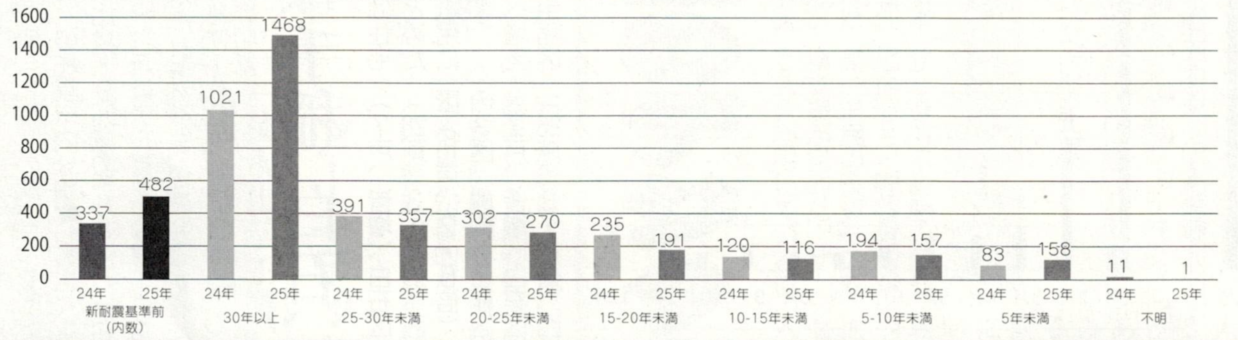


札幌市の中古流通マンションの区別・築年数別成約数（2025年1～12月）

※出典：独自集計

築年数	中央区	北区	東区	白石区	厚別区	豊平区	清田区	南区	西区	手稲区	合計	対前年比
新耐震基準前(内数)	144	55	11	30	4	116	1	51	62	8	482	143.0%
30年以上	400	140	87	137	100	237	30	117	166	54	1468	143.8%
25-30年未満	103	26	37	26	14	57	16	20	45	13	357	91.3%
20-25年未満	113	28	26	16	10	35	0	9	32	1	270	89.4%
15-20年未満	71	11	17	26	10	27	3	4	15	7	191	81.3%
10-15年未満	64	7	17	8	3	4	0	3	10	0	116	96.7%
5-10年未満	89	10	10	10	3	14	0	0	21	0	157	80.9%
5年未満	76	31	11	2	6	17	0	2	11	2	158	190.4%
不明	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	9.1%
合計	916	253	205	225	146	391	49	156	300	77	2,718	115.3%

■札幌市の中古流通マンションの築年数別成約数の2024年と2025年の比較（1～12月）

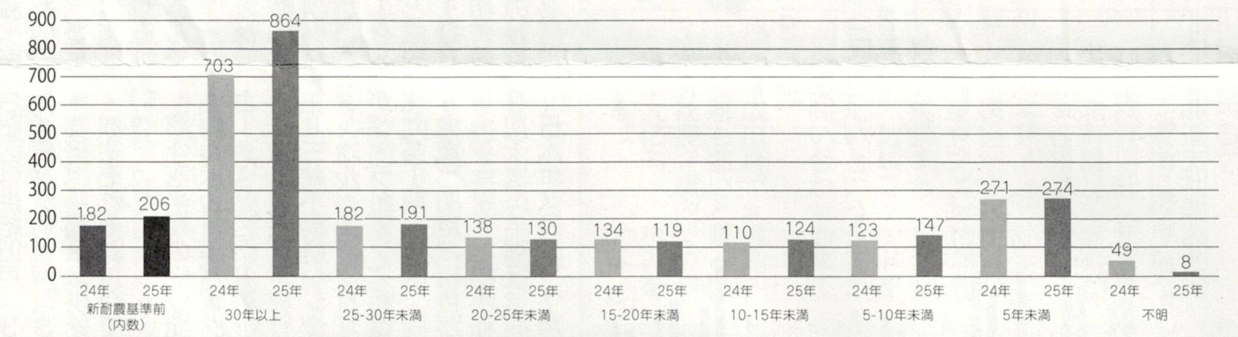


札幌市の中古流通一戸建ての区別・築年数別成約数（2025年1～12月）

※出典：独自集計

築年数	中央区	北区	東区	白石区	厚別区	豊平区	清田区	南区	西区	手稲区	合計	対前年比
新耐震基準前(内数)	7	23	25	25	3	16	8	55	29	15	206	113.2%
30年以上	23	139	104	54	49	42	93	143	92	125	864	122.9%
25-30年未満	7	34	29	20	10	15	19	17	18	22	191	104.9%
20-25年未満	12	24	18	7	7	8	18	9	19	8	130	94.2%
15-20年未満	8	34	11	5	7	6	18	9	8	13	119	88.8%
10-15年未満	12	30	21	6	6	11	4	9	15	10	124	112.7%
5-10年未満	9	32	21	12	6	11	7	5	21	23	147	119.5%
5年未満	15	46	45	52	4	34	7	17	33	21	274	101.1%
不明	1	0	2	1	0	3	0	0	1	0	8	16.3%
合計	87	339	251	157	89	130	166	209	207	222	1,857	108.6%

■札幌市の中古流通一戸建ての築年数別成約数の2024年と2025年の比較（1～12月）



2025年度指定流通機構利用実績（北海道）

※出典：独自集計

●総登録実績

区分　月	10月	11月	12月
売買物件	4,083	3,441	3,114
（売り主）	734	627	577
（代理）	12	7	7
（専属）	329	279	234
（専任）	2,156	1,887	1,681
（一般）	852	641	615
賃貸	289	337	225
登録件数合計	4,372	3,778	3,339
前年同月	5,692	4,948	4,265
前年対比(%)	76.8	76.4	78.3

●成約報告実績

区分　月	10月	11月	12月
成約報告数	1,069	1,109	923
前年同月	1,003	963	885
前年対比(%)	106.6	115.2	104.3

●サブセンター別物件登録実績

区分　月	10月	11月	12月
宅建協会	2,669	2,243	2,020
全日協会	1,030	935	842
FRK	642	580	453
登録件数合計	4,341	3,758	3,315
前年同月	4,396	3,920	3,582
前年対比(%)	98.7	95.9	92.5

●登録状況（12月）物件別

区分　団体	宅建協会	全日協会	FRK
土地	716	237	114
戸建て	673	185	111
マンション	294	287	198
住宅以外	189	71	21
合計	1,872	780	444
前年同月	1,843	991	455
前年対比(%)	101.6	78.7	97.6

媒介契約別

区分　団体	宅建協会	全日協会	FRK
専属選任	101	51	82
専任	1,036	349	288
一般	419	129	57
売り主その他	316	251	17
合計	1,872	780	444
前年同月	1,843	991	455
前年対比(%)	101.6	78.7	97.6

●成約状況（12月）物件別

区分　団体	宅建協会	全日協会	FRK
土地	139	42	75
戸建て	214	43	65
マンション	71	30	130
住宅以外	33	5	6
合計	457	120	276
前年同月	441	107	275
前年対比(%)	103.6	112.1	100.4

●在庫状況（12月）物件別

区分　団体	宅建協会	全日協会	FRK
土地	5,050	1,594	624
戸建て	3,431	1,129	484
マンション	1,053	540	697
住宅以外	888	340	130
合計	10,422	3,603	1,935
前年同月	10,348	3,633	2,140
前年対比(%)	100.7	99.2	90.4

2025年の札幌市の流通市場の区別・月別成約件数

※出典：独自集計

右記QRコードを読みこむと下記3つの表のグラフが表示されます

■一戸建て

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年比
中央区	2	4	4	5	9	11	10	8	12	7	9	6	87	116.0%
北区	21	20	29	25	24	39	24	31	34	37	31	25	340	110.0%
東区	19	16	20	21	28	24	20	18	22	25	25	13	251	112.6%
白石区	12	10	23	16	15	12	15	10	15	9	5	16	158	117.0%
厚別区	9	13	8	4	8	6	7	7	5	9	7	7	90	77.6%
豊平区	14	17	8	9	11	9	12	15	13	9	8	5	130	90.9%
清田区	11	11	18	8	10	18	15	21	15	15	14	10	166	91.7%
南区	13	17	9	18	25	18	24	13	14	19	22	17	209	97.2%
西区	16	15	22	17	14	16	19	19	20	17	21	12	208	122.4%
手稲区	13	18	22	12	19	22	20	23	12	15	25	21	222	116.8%
合計	130	141	163	135	163	175	166	165	162	162	167	132	1,861	105.9%

■土地

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年比
中央区	7	14	8	10	8	10	9	12	10	13	7	9	117	128.6%
北区	22	31	36	30	34	36	28	34	34	30	35	23	373	118.4%
東区	18	19	22	11	25	20	26	23	16	32	25	16	253	96.6%
白石区	14	13	21	17	10	21	16	8	14	24	16	18	192	105.5%
厚別区	7	11	11	8	7	15	10	9	14	11	6	7	116	128.9%
豊平区	10	14	17	15	7	10	25	19	21	19	16	20	193	109.0%
清田区	7	11	7	10	10	17	11	6	8	9	11	6	113	114.1%
南区	9	9	12	15	11	10	21	11	8	11	14	18	149	123.1%
西区	23	22	30	18	23	25	25	16	25	14	29	19	269	100.7%
手稲区	10	15	19	15	11	18	14	16	21	13	17	18	187	118.4%
合計	127	159	183	149	146	182	185	154	171	176	176	154	1,962	111.4%

■マンション

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年比
中央区	52	81	92	69	72	83	84	73	72	89	82	67	916	108.4%
北区	15	23	24	22	18	19	27	20	21	20	24	20	253	111.5%
東区	12	20	11	18	20	23	21	12	12	18	25	13	205	128.1%
白石区	13	19	19	24	19	19	21	17	21	15	16	22	225	115.4%
厚別区	13	10	14	13	12	14	12	13	12	11	11	11	146	90.7%
豊平区	11	47	36	26	40	36	37	36	25	29	42	26	391	119.9%
清田区	1	4	4	8	2	2	3	3	6	8	5	3	49	136.1%
南区	12	13	23	14	15	9	5	12	14	14	11	14	156	124.8%
西区	16	18	31	26	25	21	25	25	26	27	30	30	300	114.5%
手稲区	5	5	5	10	10	6	7	2	5	5	8	9	77	148.1%
合計	150	240	259	230	233	232	242	213	214	236	254	215	2,718	113.8%

居住サポート住宅対応の事業展開

高齢者住宅市場を解説

MIKAWAYA21などセミナー

高齢者支援に取り組むMIKAWAYA21（東京）と65歳以上を専門に賃貸仲介するR65（同）、居住支援法人あんど（千葉）は1月13日、高齢者賃貸住宅市場拡大を展望するセミナーを開いた。2025年10月に設立された「居住サポート住宅制度」に対応した事業などに、オンラインで119人が耳を傾けた。

MIKAWAYA21の平川健司事業戦略顧問、R65の山本遼社長、あんどの西澤希和子社長が登壇した。

平川顧問ははじめに国内の75歳以上の単身高齢者は30年に800万世帯に上ると問題提起。受け皿となり得る賃貸用空き家は増加しつつあるものの、居室内での死亡などの懸念から高齢者入居に拒否感を示す大家が約7割いると指摘した。

これらの課題を解決する糸口として、MIKAWAYA21が運営しR65が集客、あんどが居住支援業務を担う「まごころアパート」事業を挙げた。ICTでの見守りや入居者が地域と交流できる仕組みで快適に暮らしつつ、あんどが事務手続きや福祉サービスとの接続などを担う。

同事業で神奈川県横浜市に設置した松葉台棟が居住サポート住宅に認定され、入居募集を開始した。将来的にはR65と協力した情報発信を進め、全国展開も構想する。

山本社長は「難しい問題となっている認知症や心の衰えをケアする受け皿として居住サポート住宅があるのではと思う」と話した。

セミナーを20日ウェビナー開催

環境不動産普及促進機構

環境不動産普及促進機構（Re－Seed機構）は20日午後2時20分から、「環境不動産・SDGsセミナー～不動産投資におけるESG投資・SDGsの推進とRe－Seed機構の活用について」をウェビナーで開く。

同機構の千葉達也専務理事、日本不動産研究所企画部の古山英治次長、国土交通省不動産・建設経済局不動産市場整備課不動産投資市場整備室の朝津陽子室長の3人が登壇。3部構成で不動産投資におけるESG投資・SDGsの意義や現状を講演する。定員は100人で、参加費無料。申し込みは同機構のホームページにて受け付ける。

トレンドを読む！

2025年10～12月 札幌市内の分譲マンション供給・成約

供給14.9％減、222戸　成約18.3％減、246戸

住宅流通研究所まとめ

1月からの累計 供給843戸、成約917戸

住宅流通研究所（札幌）の調査によると、2025年第4四半期（10～12月）の札幌市内分譲マンション供給・成約戸数は、供給が前年同期比14・9％減の222戸、成約が同18・3％減の246戸だった。11月はアルビオ・ステーション札幌桑園EASTとWESTがそれぞれ25戸程度発売するなどして供給数が伸びた。成約は12月に100件を超えた。

（関連記事2面）

増加は手稲、白石、西の3区

表、グラフは住宅流通研究所がまとめたデータを基に本紙用に整理し作成した。

前年同期と比べ増えたのは、供給が手稲区（7戸、皆増）、白石区（26戸、3・7倍）、西区（10戸、2・5倍）の3区。成約も手稲区（7戸、皆増）、白石区（26戸、3・7倍）、西区（17戸、54・5％増）の3区だった。

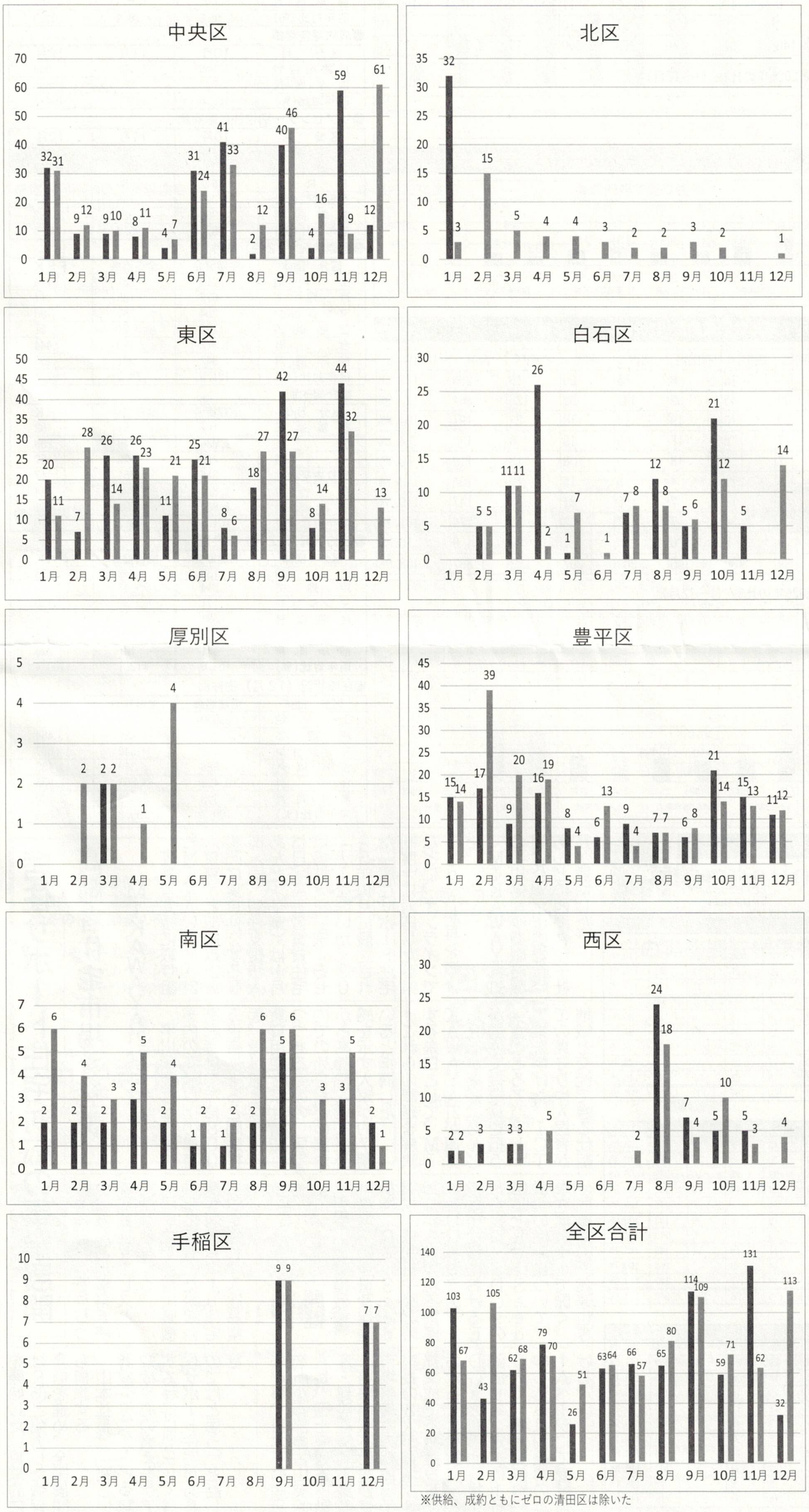
反対に前年同期と比べ減少した区で特に変動が大きいところを見ると、供給は北区（皆減）、厚別区（皆減）、南区（61・5％減）、成約は厚別区（皆減）、豊平区（39・1％減）、南区（30・8％減）がそれぞれ顕著に落ち込んでいた。

1月からの累計は、供給が31・4％減の843戸、成約が24％減の917戸だった。本紙に記録が残る1998年以降で供給と成約が1年を通じて1000戸を切るのは初。前年から増加したのは供給、成約ともに2区。白石区は供給93戸（3・4倍）、成約74戸（3・4倍）、手稲区は供給・成約それぞれ16戸で皆増だった。

第4四半期の主な発売物件は10月がパークホームズ東札幌1期1―4次（白石区、売り主＝三井不動産レジデンシャル）20戸、11月がザ・ライオンズ札幌北九条1期（東区、同＝大京）30戸、12月がレ・ジェイド札幌手稲2期1次（手稲区、同＝日本エスコン）7戸など。

主な成約は10月がパークホームズ東札幌1期1―4次の11戸（残9戸）、11月がザ・ライオンズ札幌北九条1期の21戸（残9戸）、12月がアルビオ・ステーション札幌桑園EAST1期1―2次とWEST1期1―2次（中央区、売り主＝ミサワホーム北海道・北海道旅客鉄道）のEAST棟が25戸（完売）、WEST棟が25戸（残1戸）などだった。

■グラフ.各区月別供給戸数・成約戸数の推移



※供給、成約ともにゼロの清田区は除いた

■表.札幌市内区別分譲マンション新規供給・成約実績（2025年1～12月）

		2025年		対前年比	
			第4四半期	累計	第4四半期
中央区	新規供給	251戸	75戸	69.3％	67.6％
	成約	272戸	86戸	68.5％	69.9％
北区	新規供給	32戸	0戸	53.3％	皆減
	成約	44戸	3戸	97.8％	75.0％
東区	新規供給	235戸	52戸	81.0％	98.1％
	成約	237戸	59戸	83.2％	81.9％
白石区	新規供給	93戸	26戸	3.4倍	3.7倍
	成約	74戸	26戸	3.4倍	3.7倍
厚別区	新規供給	2戸	0戸	4.3％	皆減
	成約	9戸	0戸	19.6％	皆減
豊平区	新規供給	140戸	47戸	50.7％	79.7％
	成約	167戸	39戸	61.2％	60.9％
清田区	新規供給	0戸	0戸	-	-
	成約	0戸	0戸	-	-
南区	新規供給	25戸	5戸	33.3％	38.5％
	成約	47戸	9戸	79.7％	69.2％
西区	新規供給	49戸	10戸	53.8％	2.5倍
	成約	51戸	17戸	63.8％	154.5％
手稲区	新規供給	16戸	7戸	皆増	皆増
	成約	16戸	7戸	皆増	皆増
合計	**新規供給**	**843戸**	**222戸**	**68.6％**	**85.1％**
	成約	**917戸**	**246戸**	**76.0％**	**81.7％**

※対前年比欄の「-」は前年とことしの実績がゼロの場合

新保証オプション開始

家賃滞納や孤独死 リスクに備え

予約サイトW&M運営会社

マンスリーマンション運営で

ウィークリーマンションやマンスリーマンション専用の予約サイト「W&M（ウィークリー&マンスリー）」を運営するWeekly&Monthly（札幌）は1月28日、家賃滞納や孤独死に伴う損害などマンスリーマンション運営で発生するリスクに備える新たな保証オプションサービスの提供を開始した。

保証内容は家賃保証、通常清掃を超える原状回復費用といった家賃以外の保証、孤独死保証の3項目。いずれも発生頻度は高くないが、一度起こるとコストや工数、精神的負担が大きいため、こうしたリスクへ備える新たなオプションを設けた。

W&Mに掲載している企業が任意で付帯でき、保証上限金額に応じて4つのプランを用意。顧客となるオーナーが物件や契約内容に応じて選択できる。

同社は今後もマンスリーマンション運営事業者の負担軽減に寄与するため、サービスの開発を進める。

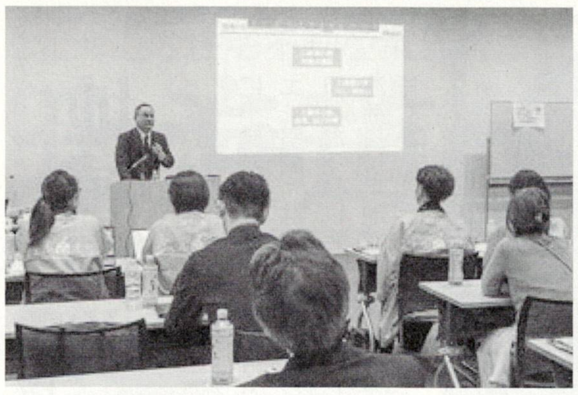
多様性への理解深める

ジェルこまち 名古屋で全国大会

リフォーム産業に携わる女性らでつくるジェルこまちは1月15日、LIXILショールーム名古屋で第8回全国大会ジェルこまちDAY2026を開いた。多様性や女性活躍への理解を深めた。オンラインで全国と会場をつなぎ、全体で103人が参加した。

母体の日本住宅リフォーム産業協会（JERCO）の望月俊彦会長は「100人が集まるイベントとなった。学んで成長したいという思いの力だ。その力が未来を照らしてくれる」と期待を込めた。

基調講演ではチェンジ・マネジメント（東京）の有岡秀郎コンサルタントが登壇した。

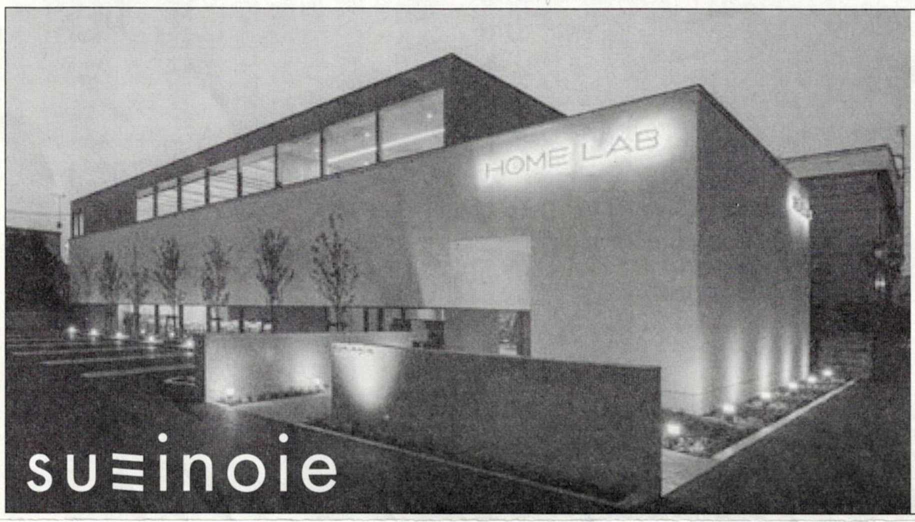


参加者らが有岡氏の講演に耳を傾けた。（JERCO提供）

組織内の多様性が収益や市場開拓、生産性に影響を与えると指摘。互いの違いを知ることから始めることを勧め、「自分と他人は違う。自身が多様な視点を持っていると覚えてもらえれば」と話した。

女性活躍の事例発表ではトーリツ（札幌）の本間えりか企画管理室長兼総務部課長が、入社当初の事務員から動画制作やSNS運営などを任せられる現在の業務に変化したと発表。完全に未経験な分野だったが「調べる、試す、続ける」のサイクルで生成AIを活用するなどした結果、来店する顧客のほぼ全員が動画を見ているという成果につながったと振り返った。

このほか、全国各支部の支部長に女性社員への向き合い方などを聞く座談会も実施した。



複合型情報発信拠点
HOME LAB
炭のチカラと換気システムで
キレイな空気のデザイン住宅。
http://www.114119.jp
2003年4月発売以来20年で、
14,611棟を達成！
（2023年6月30日現在）
株式会社ホーム企画センター
HOME KIKAKU CENTER Co., Ltd.
札幌市北区北38条西2丁目1番26号　☎（011）756-4818
FAX（011）756-5412

コラム

『お役立ち住宅金融』

— 第71回 —

令和7年度補正予算に伴う フラット35の制度拡充について

住宅金融支援機構 北海道支店
副支店長 田中 潤

住宅金融支援機構は、最長35年の全期間固定金利の住宅ローン【フラット35】の提供等を通じて子育て世帯をはじめとした幅広い世代の安心で快適な住生活の実現を支援しています。

この【フラット35】等につきまして、融資限度額引上げ等、以下の制度拡充を実施する予定ですので、お知らせいたします。

今回の制度拡充は、「強い経済」を実現する総合経済対策～日本と日本人の底力で不安を希望に変える～」（令和7年11月21日閣議決定）における、足元の物価高等への対応の一環として、【フラット35】の融資限度額引上げ等の固定金利型住宅ローンの利用の円滑化が掲げられていることを踏まえて実施するものです。

また、【フラット35】については、これまでと同様、資金調達の工夫等により、市場金利の上昇に比してご利用しやすい金利水準をより多くの方々に享受いただけるように努めることで、物価と金利のダブル上昇による住宅取得者の不安に対する受け皿としての役割を果たして参ります。

〈制度拡充内容〉

1．【フラット35】融資限度額の引上げ（令和8年4月予定）

「金利のある世界」が定着してきていることを踏まえ、8000万円超の住宅ローンを利用する方に対してもご返済中の安心を提供することを目的とし、足元の物価高に伴う住宅価格の上昇に対応するため、全期間固定金利型である【フラット35】の融資限度額を8000万円から1億2000万円へ引き上げることといたしました。

現行	見直し後
8,000万円以下	1億2,000万円以下

2．【フラット35】の対象となる一戸建て住宅等における床面積要件の緩和（令和8年4月予定）

住まい選びや生活スタイルの多様化に対応するため、一戸建て住宅等における床面積の下限を70㎡以上から50㎡以上に見直します。

現行	見直し後
70㎡以上	50㎡以上

3．【フラット35】借換融資における制度拡充（令和8年3月予定）

全期間固定金利の住宅ローンへの借換えの円滑化や子育て世帯等の支援のため、【フラット35】借換融資を次のとおり見直します。

(1)金利引下げ制度の創設

これまで対象外としていた【フラット35】子育てプラスを、【フラット35】借換融資でも利用可能とします。

(2)借入期間の基準を延長

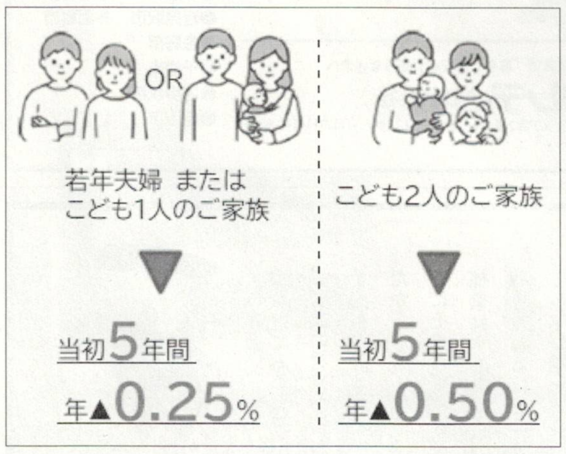
借入期間算出の基準となる年数を35年から40年に延長します。

なお、見直し後の借入期間の上限は35年となります。

現行	見直し後
35年※ − 従前の住宅ローンの経過期間	40年※ − 従前の住宅ローンの経過期間

※長期優良住宅、予備認定マンション又は管理計画認定マンションの場合は、これまでと同様50年です。

■【フラット35】子育てプラスのご利用例



4．特定残価設定ローン保険の創設（令和8年3月予定）

民間金融機関による残価設定型の住宅ローンの供給を促進するため、「特定残価設定ローン保険」を創設します。

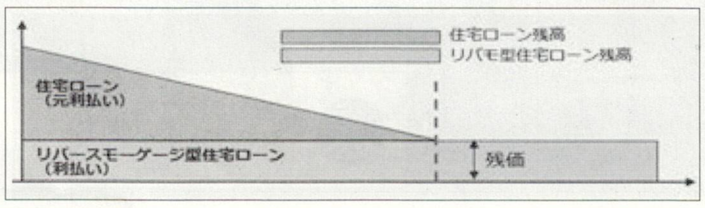
〈主な特徴〉

・住宅価格の上昇に伴い住宅ローンが高額化・長期化する中でも、子育て世帯等が月々の返済負担を軽減しつつ安心して返済可能な住宅ローン

・通常の住宅ローン（元利払い）とリバースモーゲージ型住宅ローン（利払い）を組み合わせた融資

・死亡時のほか、住宅の売却時にも残価部分を債務が残らないノンリコースとすることで、売却や住み替えの円滑化を支援

■キャッシュフローイメージ



住宅金融支援機構では、様々な金融サービスの提供等を通じて、引き続き皆さまの住まいづくりを支援して参ります。

地域密着でニーズに応える

ハウスドゥFC加盟 25年12月に登別店オープン

トワ・ピリエ（室蘭）谷口 孔沢社長

室蘭市を中心とする西胆振地域を拠点に不動産売買仲介を手掛けるトワ・ピリエ（室蘭）は、2025年12月に5店舗目となる登別店をオープンした。谷口孔沢社長は「地域密着」を理念に住民のニーズに応じた事業を展開している。

たにぐち・こうたく　1965年9月9日生まれ。岩内町出身。建設・不動産会社などを経て、2008年にトワ・ピリエを設立。14年から現職。

高齢者の住み替え支援に力

同社は08年に創業し、12年からハウスドゥのFCに加盟。室蘭店を中心とした胆振管内を拠点とする。住宅提案や高齢者の住み替え支援に力を入れる。価格の小さな案件でも顧客に寄り添う姿勢で対応することが件数獲得の要因。地域に根差した企業づくりを進めている。

24年11月のハウスドゥ全国FC大会で仲介契約件数全国1位を獲得。価格の大小にかかわらず全ての取引をサポートする姿勢が成果につながった。

札幌圏でも清田平岡店と千歳駅前店の2店舗を構える。「両方とも国道36号線の沿線上で、胆振管内からのアクセスもしやすい」ことが出店の理由だ。西胆振地域では住民の高齢化が顕著。「ご子息が札幌にいることから、札幌で住み替えする高齢者が増えている」という。札幌圏での店舗展開によりスムーズに対応できることが強みとなっている。

店舗の拡大と同時に従業員の働きやすい環境づくりにも力を入れている。26年から業界としては珍しい毎月第1、第3日曜日を定休とした。「家族サービスをしてほしい」と有給休暇や育児休暇の取得も推進。昼食代の補助やクリスマス手当など従業員からの声を採用した福利厚生制度も設けている。

従業員の働きやすい環境を整備し、定着率を高めることでさらなる店舗の拡大を進めたい考えだ。多様化する要望に応え、引き続き地域貢献に力を入れる。

厳しい環境乗り越え時代の変化に対応を

住宅二団体新年交礼会

ストック市場への取り組みを呼び掛ける蓮井支部長

日本ツーバイフォー建築協会北海道支部（蓮井美津夫支部長）とプレハブ建築協会北海道支部（三村勇司支部長）は1月16日、住宅二団体新年交礼会をANAクラウンプラザホテル札幌で開いた。会員、来賓など約90人が出席し、新年の門出を祝った。

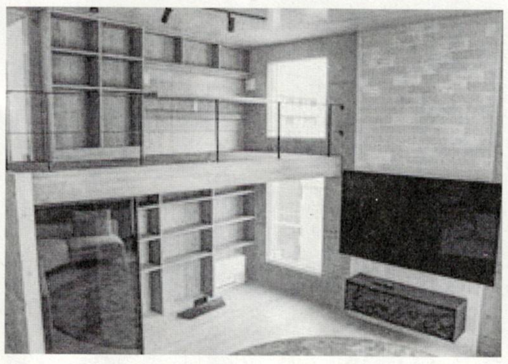
冒頭あいさつに立った蓮井支部長は、資材価格と人件費の高騰に加え、4号特例縮小や省エネ基準の義務化により建築確認審査業務が長期化し、工期への影響から業界環境は依然厳しいと指摘。

その上で「住宅市場は2050年のカーボンニュートラル達成に向けてストック市場への補助金などの拡充があり、リフォーム、リノベーションのマーケットも広がっている。新築重視からストック市場への取り組み強化といった過去にとらわれない施策が必要になる」と呼び掛けた。

芥川昌久道建設部住宅局長、眞崎次郎住宅金融支援機構北海道支店長が祝辞。細谷俊人北海道建築指導センター理事長の乾杯の音頭で祝宴に入り、懇親を深めた。

さくら構造が見学会

スペースウォール工法で壁を減らす　間取りの自由度高める


広々とした空間の室内

さくら構造（札幌）は1月14日、15日の2日間、札幌市豊平区美園のレンタルオフィス「SAKURA GARDEN MISONO」で壁式構造見学会を開いた。同社独自のスペースウォール工法を採用。壁をできるだけ減らして広々とした空間を確保し、間取りの自由度を高めた。2日間で不動産関係者など計23組が参加した。

2025年12月25日に竣工。地下鉄東豊線豊平公園駅から徒歩6分に位置する。地上4階建てで、部屋数は1階と4階が1室ずつ、2～3階が2室ずつの全6室で構成。間仕切り壁は非RC壁とした。資材削減と軽量化に成功し、低コスト化を実現した。

同社独自の耐震基準である「TSUYOKU」に適合し、高い耐震性能を確保。外断熱とコンクリートの蓄熱により、通年で快適な温度を保つ。

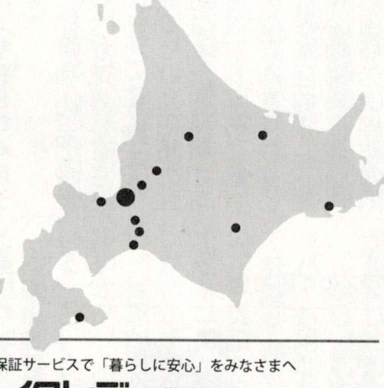
賃料は月額13万8000～17万8000円（税別）。全6室中3室が契約済みだ。

JOG
常口アトム
jogjog.com

NETWORK
不動産の賃貸仲介
売買仲介
管理

株式会社 常口アトム
札幌市中央区北1条西7丁目1番地 プレスト1·7 10階　TEL.0120-270-206

株式会社 常口アトム青森
青森県青森市新町1丁目12番7号　TEL.017-721-1188



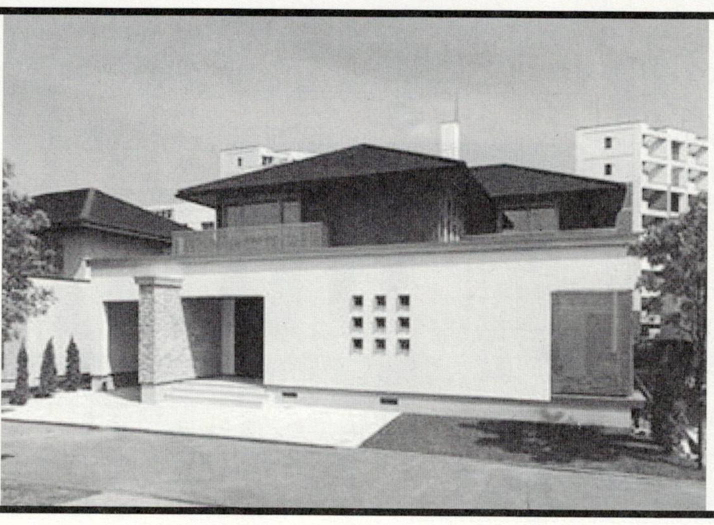
株式会社 常口アトム
●札幌市 ●小樽市 ●江別市 ●岩見沢市 ●恵庭市 ●千歳市 ●苫小牧市 ●旭川市 ●北見市 ●帯広市 ●釧路市 ●函館市

開店や店舗プロモーションツール（チラシなど）の宅配、配送業務
株式会社 常口ミッドプロパティ
札幌市白石区北郷5条8丁目3番22号　TEL.011-875-8080

業務家賃保証サービスで「暮らしに安心」をみなさまへ
ジェイクレディ株式会社
札幌市中央区北1条西18丁目2番地6　JOGBLD3F　TEL.011-211-6805

一棟一心

家を建てることは、
ご家族の将来を預かるということ。
手抜きの許されない、責任の重い仕事です。
だからこそ、一棟一心。
常にその言葉を肝に銘じて、東日本ハウスの
棟梁は木と向き合います。
時を重ねるほどに味わいを増していく、
そんな心のこもった木の家を
私たちはお届けしたいと願っています。



株式会社日本ハウスホールディングス北海道ブロック
〒063-0803　札幌市西区二十四軒3条4丁目1-8
TEL011-623-3611㈹　FAX011-623-3615
日本ハウスホールディングス
http://www.nihonhouse-hd.co.jp/